

# アフガニスタン事情



2020年7月22日  
アジア研究会



アフガニスタン  
用水路が運ぶ  
恵みと平和

主 編 緑の大地計画の記録 (2000-2010)

共編者 PMSの運営方式

発行所 緑の大地計画事務局  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1







図 15 アフガニスタン東部とパキスタン北西辺境州

# アフガニスタン概要(1)

- 人口： 2,916万人
- 面積： 65万平方キロメートル(日本の1.7倍)
- 首都： カブール
- 人種： パシュトゥーン人、タジク人、ハザラ人、ウズベク人など
- 公用語：ダリー語、パシュトゥー語
- 宗教： イスラム教(主にスンニ派、ハザラ人はシーア派)
  
- 略史： 1919年独立。1973年共和制に移行。  
1978年軍部クーデターにより人民民主党政権  
1979年ソ連軍事介入、1989年ソ連軍撤退  
1992年ムジャヒディーン政権成立、内戦状態  
1994年頃タリバーン勢力拡大  
2004年カルザイ政権  
2014年民主的政権交代

## アフガニスタン概要(2)

- 主要産業(輸出): ジュータン、レーズン、ピスタチオ、甘草  
羊毛、干しイチジク、アーモンド、羊皮など  
(輸入): 石油、セメント、鉄、電化製品、小麦など
- 主要貿易相手国:  
(輸出): パキスタン、インド、イラン、トルコ、イラク  
(輸入): イラン、パキスタン、中国、カザフスタン
- バーミヤン遺跡:  
2001年、タリバーンによってバーミヤンの遺跡群を破壊
- 1980年 西欧諸国が、モスクワオリンピックをボイコット  
ソ連のアフガン侵攻を理由
- 2008年 日本人拉致事件(伊藤和也氏殺害)



世界遺産「バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」の西大仏。左が破壊される前の姿、右が破壊されたあと。6世紀に築かれた高さ55mを誇る巨大な石仏だが、2001年3月12日にタリバンによって爆破され、仏像は完全に崩壊した。破壊されたのはこの西大仏と、高さ38mの東大仏の2体



## 中村哲医師

2019年12月4日 中村哲医師がナンガルハル州ジャララバードで、武装勢力の 襲撃を受け、死亡した。タリバーンは事件への関与を否定する声明を出した。

(1946年9月15日生まれ 当時73歳)

## ペシャワール会声明:

2019年12月4日(水)、中村哲医師が、いつものようにジャララバードの宿舎を出て作業現場に向かう途中何者かに銃撃され、病院に移送された後、亡くなりました。享年73歳。また、同乗していたドライバーのザイヌッラー・モーサム(Zainullah Musam)さんと4人の護衛の方々も殉職されました。中村医師を初め皆様のご冥福を祈るとともに、ここに追悼の意を表します。

(<http://www.peshawar-pms.com/>)



## ペシャワール会

- 1983年設立
- ペシャワールを拠点  
PMS(ペシャワール会医療サービス)病院  
70床、日本人7名、現地職員120名
- 診療所：パキスタン北部 2ヶ所診療所  
アフガニスタン 8ヶ所診療所

# 中村哲医師：





大事なものは、  
与えられた場所でいかに力を尽すか。  
深く考えないようにながら、その時、その時の仕事に全力で取り組んでいます。

医師 中村 哲氏

『理念と経営』2020年2月号

「砂漠に井戸を掘り続けた人

中村哲が遺したものの」より

理念と経営

中村哲医師のご冥福をお祈りします